

支部だより

Newsletter No.55

広報委員会

(一社)日本道路建設業協会
中部支部

〒460-0003
名古屋市中区錦三丁目7番9号
(太陽生命名古屋第2ビル8F)

TEL.052-971-5310

道の駅パレットピアおおの



迎春



目次

支部長新年挨拶	1
幹事長新年挨拶	1
中部地方整備局長新年挨拶	2
中部支部 第70回 定時総会	3
中部地方整備局・中日本高速道路(株)との意見交換会	4
平成30年度 中部支部役員・委員会紹介	5
働き方改革実行委員会	6
サクラだより	6
道路建設技術講演会	8
舗装施工管理技術者技術講習会	9
労働基準法に関する講習会	9
アスファルト舗装技術に関する講習会	10
技術委員会【建設技術フェア2018in中部】	11
安全委員会【安全パトロール】	12
中部緊急防災協会通常総会・平成30年度役員紹介	13
中部緊急防災隊式典	14
防災訓練	15
会員だより	16
季節の写真・編集後記	17
大規模津波防災総合訓練・南海トラフ巨大地震防災訓練	18

■表紙写真

国土交通省「道の駅」シリーズ
県道53号・県道92号

パレットピアおおの

路線名	県道53号・県道92号
営業時間	24時間営業(トイレ・情報館) 9:00~18:00(レストラン・ベーカリー・直売所) 10:00~16:00(子育て支援施設)
駐車台数	小型車236台、大型10台、障がい者用7台
休館日	年中無休(地域振興施設) 毎週水曜日・祝日の翌日(子育て支援施設)

駅長からのメッセージ

東海環状自動車道(仮称)大野・神戸ICに近接。大型モニターによる情報発信、農産物直売所・レストラン・ベーカリーでは、地元産にこだわった特産品でおもてなしします。



ここがポイント!

大野町のOの字をモチーフにした直径60mの屋根付回廊(リング)が特徴的。観光情報発信の拠点となるほか、子育て支援機能や公共交通機能、防災機能など多機能を併せ持った岐阜県最大級の道の駅です。

新年挨拶

新年明けましておめでとうございます。

会員各社の皆様にはつつがなく新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。年頭に当たり一言ご挨拶申し上げます。

昨年度は支部事業活動に対し、多大なご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

さて、建設業界は大手ゼネコンを中心に2020年に開催される東京オリンピック関連工事が最盛期を迎え、リニア中央新幹線の本格着工もあり活況を呈しております。又、先日には2025年開催の万国博覧会の開催地が大阪に決まりました。アジア版オリンピックと言われる第20回アジア競技大会(2026年開催)も愛知・名古屋での開催がすでに決まっております。

一方、少子高齢化が進み生産年齢人口が減少するなかで、建設業における担い手確保・育成は喫緊の課題であります。現在約330万人と言われている建設技能労働者の数が今後10年で100万人近く減少すると予測する報告も出ております。魅力ある建設業界となるためにも、きつい、汚い、危険の「旧3K」から給与がいい、休暇が取れる、希望がもてるの「新3K」への改善が必要であります。

今、政府を挙げて「働き方改革」への取組みが加速しております。中部支部としましては本部「働き方改革に向けた基本方針」に則り支部活動を活性化すべく、今年度第4回幹事会にて『中部支部働き方改革実行委員会』を立ち上げました。

実行委員会では当面以下の活動に注力する事としております。

- ・第二土曜日の閉所運動の推進。
- ・会員企業の現場で活躍されている女性技術者の紹介を支部だよりを媒体とし広報する。
- ・ICT舗装の普及・支援に向けた現場研修会の開催。

働き方改革実現の為のハードルは非常に高いと実感しております。支部会員皆様の一層のご理解、ご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

結びに、支部会員各社の、益々のご隆盛と皆様のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。



支部長
福島 憲二
(株式会社NIPPO 中部支店 常務執行役員支店長)



新年あけましておめでとうございます。

会員各社の皆様におかれましては、晴れやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年も協会支部活動が円滑に運営できますよう、ご支援、ご協力の程どうぞよろしく願いいたします。

道路建設業を取り巻く問題は多々ありますが、建設業全体で進む就労者の減少と高齢化に対しての様々な取り組みがなされてまいりました。担い手確保の手段として、「給料が高い」「休日がとれる」「希望が持てる産業」の新3Kを打ち出し、建設業へのイメージを良くすることで若手就労者を募っているのもその一つであると考えます。

中部支部は、昨年より取り組んでいます長時間労働の是正(自主規制)と週休二日制の実現の二つを達成するための方策として、福島支部長の下、「働き方改革実行委員会」を発足させ具体的な以下の三つの活動を始めました。

第一は週休二日を見据えた第二土曜日の現場閉所への取組み状況を調査し結果を配信します。

第二は女性活躍の現場を紹介し、職場環境の改善を提案します。

第三はICT現場見学会を実施し、活用範囲の拡大を促進します。

これを実行することが働き方改革の歩みを確実に進められることとなりますので、皆様方のご理解とご協力を重ねてお願いいたします。

また、一昨年来継続しております「コンプライアンス体制確立の支援」に関しても、協会本部と緊密な連携を取り、公正取引関係、労働基準関係並びに暴力団対策関係の講習会の開催及び運営に尽力してまいります。

会員各位ならびに関係の皆様方にとりまして、良い一年になりますことを祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



幹事長
淵上 彰恭
(世紀東急工業株式会社 名古屋支店 執行役員支店長)



国土交通省
中部地方整備局長
勢田 昌功

新年
挨拶

平成31年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日本道路建設業協会中部支部の皆様方におかれましては、旧年中、中部地方整備局の事業の推進に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、日頃より災害対応や支援活動はもとより、戦略的な維持管理・更新、さらには週休二日やi-Constructionの普及拡大などの働き方改革の推進等、様々な取組に連携・ご協力頂いておりますことを改めまして感謝申し上げます。

昨年は、平成30年7月豪雨、台風21号、北海道胆振東部地震など、自然災害が頻発しました。当整備局では、これらの頻発する自然災害が広域化・甚大化していることから、国をあげて強靱化を進めることの重要性を改めて認識しました。

大規模災害リスクへの対応や巨大な産業活動を支えるためには、社会資本の担い手として、また災害時の地域の守り手として、社会資本整備の現場に精通されている皆様方の高い技術力と経験、そして気概と活力が何よりも必要です。

当整備局では、貴協会の皆様と一体となって地域の安全・安心と更なる発展に向け全力で取り組んで参りますので、今後もますますのご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますのご発展と会員皆様のより一層のご活躍を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。





第70回 定時総会

(一社)日本道路建設業協会中部支部は5月28日、名古屋市東区のメルパルク名古屋で第70回定時総会を開き17年度事業報告・決算および役員改選などを可決承認し、18年度の事業計画と収支予算などを報告しました。役員改選では、4月の幹事会で選出された福島憲二氏(株式会社NIPPO常務執行役員中部支店長)を新支部長に承認しました。

議事に先立ち本部役員出席のもと、協会表彰式が行われ、技能功労者に西田義則会長から表彰状が授与されました。

冒頭の挨拶で福島支部長は国の公共事業は前年度並みの予算が計上されており、道路維持修繕費は

前年度比7%増と見込まれるとしながらも、「中部地区の予算は前年度比3%減と、足元は厳しくなっている。地域の経済、安全、安心を確保するために必要な道路維持修繕費の確保を関係機関に要請したい」と述べ、第2土曜日閉所運動の推進、ICT舗装の普及など生産性の向上に取り組む方針を示されました。

また、本部の西田義則会長が業界の発展に向けた、i-Constructionの導入・促進支援、働き方改革の推進、イメージアップに取り組み「道路建設業の健全な発展を図り、使命を果たすため充実した活動を展開する」と述べられました。



福島新支部長 挨拶



技能功労者表彰授与

中部地方整備局・中日本高速道路(株)との意見交換会



支部総会に先立ち、中部地方整備局と中日本高速道路(株)と日本道路建設業協会の合同意見交換会を名古屋市東区のメルパークで開催しました。中部地方整備局からは塚原局長を始め16名、中日本高速道路(株)名古屋支社村田環境・技術管理部長他1名、道建協本部から西田会長を始め11名、中部支部から福島支部長を始め17名が出席しました。

冒頭、西田会長から生産性向上や働き方改革に今後とも積極的に取り組んでいくこと、また、意見交換会は継続的に実施することが重要で相互理解を深めていきたいと挨拶がありました。

続いて、塚原中部地方整備局長からは、道路予算の確保、働き方改革、生産性向上、担い手確保について現場の課題等もある中、情報交換の場を設け意見交換をしながら進めていきたい。また、コンプライアンスについても、発注者側も継続して実施しますが業界も引き続いて順守するよう要請されました。

意見交換会の議事では、道路舗装における労働環境の改善として、適正な工期の設定、書類の簡素化・合理化の推進、現場の監督員等に週休2日制の重要性を十分に認識させ、受注者が土日に無理なく休める環境整備を要請し、また、道路舗装工事におけるi-Constructionの推進と普及について、発注規模や合理的な施工を求めました。さらに、道路舗装のメンテナンスサイクルの確立について、予防保全の推進、舗装診断士の活用、道路維持工事の体制の改善について要望しました。

これに対し整備局側からは、労働環境改善に向け週休2日の推進や適切な工期設定などの理解促進のため、各種会議や研修等で監督職員等への周知徹底を図ること、特記仕様書を改訂して書類削減及電子化を推進し書類

削減に引続き取組むこと、ICT施工については、舗装工事の効率的な実施を考慮し可能な限り縦断方向に連続した工事区間となるよう調整に努めるほかi-Construction技術講習会や見学会を開催する、また、舗装の適切な点検及び維持修繕については、舗装の点検及び診断の信頼性確保に向け講習会や研修、技術開発に向けた取り組みを本省等と検討し、今後も舗装の適切な点検及び維持修繕について計画的に実施していくとの回答がありました。

自由討議においては、中日本高速道路(株)の舗装工事における労働環境の改善への取り組み状況について質問し、舗装補修で初めて試行工事を実施して良好な結果を得たと報告がありました。今後共、道路舗装工事における労働環境の改善に努めていきたい。と回答がありました。

最後に、塚原局長から「現在進められている諸事項は、しっかりと現場に展開することが重要である。また、民間工事の件、処遇改善の件、働き方改革については業界自体の努力も必要で、これからもコミュニケーションをとりながら進めていきたい。」と挨拶があり、意見交換会は終了しました。



中部地方整備局
塚原局長



日本道路建設業協会
西田会長

平成30年度中部支部役員・委員会紹介

■支部役員紹介

役員	氏名	会社名	役職
支部長	福島 憲二	株式会社NIPPO 中部支店	常務執行役員支店長
幹事長	淵上 彰恭	世紀東急工業株式会社 名古屋支店	執行役員支店長
幹事	飯塚 俊秋	福田道路株式会社 中部支店	執行役員支店長
〃	伊藤 馨	日本道路株式会社 中部支店	執行役員支店長
〃	小原 信也	大林道路株式会社 中部支店	常務執行役員支店長
〃	川中 喜雄	大有建設株式会社	代表取締役社長
〃	鈴木 克也	大成ロテック株式会社 中部支社	支社長
〃	土屋 聡	前田道路株式会社 中部支店	常務執行役員支店長
〃	永田 徹也	鹿島道路株式会社 中部支店	執行役員支店長
〃	難波 陽一	中部土木株式会社	代表取締役社長
〃	秦 純二	朝日土木株式会社	代表取締役社長
〃	林 肇	株式会社佐藤渡辺 中部支店	執行役員支店長
〃	平井 美次	中村建設株式会社	常務取締役
〃	藤澤 宏行	株式会社市川工務店 名古屋支社	支社長代行
〃	松居 広	岐建株式会社	取締役営業本部長
〃	松村 高志	東亜道路工業株式会社 中部支社	常務執行役員支社長
〃	山本 正樹	株式会社ガイアート 中部支店	執行役員常務支店長
会計監事	大高 圭介	花菱建設株式会社	専務取締役
〃	蓮井 肇	三井住建道路株式会社 中部支店	執行役員支店長
顧問	花木 道治	東亜道路工業株式会社 中部支社	副支社長

■支部委員会紹介

委員会名	委員長氏名	副委員長氏名
企画運営委員会	福島 憲二	淵上 彰恭
建設コスト委員会	伊藤 馨	鈴木 克也
環境委員会	土屋 聡	飯塚 俊秋
技術委員会	小原 信也	永田 徹也
安全委員会	山本 正樹	松村 高志
広報委員会	林 肇	水口 孝
防災委員会	淵上 彰恭	水口 孝

働き方改革実行委員会

日本道路建設業協会は2017年3月28日に政府が策定した「働き方改革実行計画」を受け、長時間労働を是正し週休二日制を推進することにより建設技能者の処遇改善、生産性向上などの諸課題に対して総合的に対処することを決めました。中部支部におきましても、独自の取組みを以下のとおり実施し、働き方改革への会員の意識を高めていきます。

〈働き方改革実行委員会メンバー〉

支部長	福島 憲二	(株)NIPPO	委員	大磯 義浩	(株)NIPPO	(広報委員会)
委員長	小原 信也	大林道路(株)	(技術委員長)	小川 英明	福田道路(株)	(作業部会)
副委員長	伊藤 馨	日本道路(株)	(建設コスト委員長)	荻野 公孝	東亜道路工業(株)	(環境委員会)
副委員長	林 肇	(株)佐藤渡辺	(広報委員長)	波岡 雅昭	(株)ガイアート	(技術委員会)
				山田 幸雄	北川ヒューテック(株)	(安全委員会)
				山本 達也	大成ロテック(株)	(建設コスト委員会)

① 週休二日制を見据え、まずは4週5休等を周知し、第2土曜日の閉所に向け実態調査を継続して行っていきます。

② 現場見学会の開催

■ ICT導入現場見学会(平成30年11月28日(水)開催)

三重県津市河芸町三行地内、中部土木(株)施工の平成29年度23号三行南舗装工事において三重河川国道事務所と共催で実施し22名が参加しました。

午前中はICT舗装についての講習、午後から現場体験、MCグレーダー実演、最新のMCボブキャットの試乗体験を行いました。参加者からはICT施工、省力化への対応の必要性を改めて理解できたとの感想のほか、もっと実践型の講習会を望む声もありました。

当日は雨の心配もありましたが、無事終了いたしました。



③ 「サクラだより」の発信

道路業界を女性にとっても働きやすい労働環境にするため、働く女性の現場の声をインタビューし、支部だよりの中でサクラだよりとして発信し職場環境の改善に取り組んでいきます。



取材班
メンバー
紹介

上田千秀緑 大林道路株式会社 中部支店
尾崎由美子 株式会社佐藤渡辺 中部支店
原田夕子 株式会社NIPPO 中部支店
畔地真美 日本道路株式会社 中部支店
渡邊麻香 (一社)日本道路建設業協会 中部支部



ここで紹介する方の愛称を「みちサクラ」に決定!! 輝くみちサクラのリアルな姿を紹介していきます。



被っている帽子は熱中症対策のもので、ヘルメットに取り付けるだけ! 日焼け対策にもなるので愛用しています。

サクラ前線

～前線で輝く女性のリアルな姿をご紹介します～

今回のみちサクラは

(株)NIPPO(トヨタ下山テストコース総合工事事務所)の **中川 智世** さんです。

仕事内容

1年目は中部試験所、2年目は合材工場、3年目の現在は現場(テストコース)にて勤務。仕事内容は3か所とも異なるが、経験として繋がっているとのこと。

休日の過ごし方

入浴剤を入れたお風呂に入ってリフレッシュ。料理は休日に多めに作って、作り置きにしている。特に筑前煮が大好き!

教えて! みちサクラさん ~気になるアレコレをズバリきいてみました~



Q. この仕事を選んだきっかけは?

A. 当時就職難だったので手に職をつけるためにも、高校は工学部、大学でも土木科を専攻しました。試験をやりたいと思って道路業界に入社しました。

Q. 実際に働いて感じたギャップはありますか?

A. 入社前は作業員さん=怖いイメージでした。実際一緒に働いてみて、怒鳴られたこともあります。それは危険な状況の時で、その人の命、仲間の命を守るためであり、優しさであると分かりました。そして仕事にプライドを持っている皆さんのいいものを作ろうとする姿勢をととても尊敬しています。

Q. 遠慮・誤解されていると思う事はありますか?

A. 特にありません。むしろ女性だからということで率先しているような事にチャレンジさせてもらっていると思います。

Q. 着替え・トイレはどうしていますか?

A. 事務所には更衣室を用意してもらっていて、トイレも女性専用になっています。現場ではトイレカーを利用しています。普通のトイレと変わらないくらい綺麗なんです。ただ高額なので全ての現場で導入、というのは難しいかもしれません。



Q. 将来のビジョンは?

A. 家庭と仕事を両立したいです。ただ、周りに女性は少なく出産経験者がいないので、しっかりとした流れ(モデルケース)が現時点ではありません。自分が40代になった頃には女性の働き方の流れを確立させて女性新入社員がより働きやすい環境になっていることが目標です。

Q. 今後現場で働く女性を増やしていくためには?

A. 女性の働き方の流れ(例えば結婚、出産後は内業へ、時短勤務も可、等)を確立させていかなければならないと思います。転勤制度もですが、家庭環境の変化に応じた働き方が選べるようになればもっと働きやすくなるのではないのでしょうか。



Q. 最後に、同じ業界で働く女性へメッセージをお願いします!

A. まだまだ女性が少ない業界。だからこそ交流できる場を設けて、情報交換できればいいと思います。



みちサクラさんへ

~所長からメッセージをいただきました~

外勤は女性にとってまだ働きにくい環境ではありますが、中川さんの頑張りを見ていて頼もしく思います。これからも女性が働きやすい環境づくりの先駆者として、積極的に起案してほしいです。道建協の働き方改革実行委員会の活動にも賛成です。応援しています。



花山所長

他にも同じ職場の方からは、中川さんがいてくれると現場の雰囲気は自然と良くなるという声や、力仕事、汚れ仕事をどこまで任せていいのか少し気を使ってしまう、という意見をいただきました。お互い積極的にコミュニケーションをとって、みんなが働きやすい環境をつくりあげていくことの重要性を改めて感じました。

中川さん、取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました!!

You must buy!

みちサクラさん オススメのアイテムを紹介!

中川さんのオススメは de javu のマスカラ! 現場でも落ちない!パンダにならない!!とのこと。そしてもう一つオススメは、ANESSA ベビーケア サンスクリーン!(日焼け止め)。現場で塗りなおす時は、作業中についた砂を落とすためにコットンに乳液を浸して一度拭き取ってから塗りなおすのがポイント! 皆さんも是非試してみてください。



最後に

サクラだより、いかがでしたでしょうか? 私達はサクラだよりを通して、道路業界で働いている女性のリアルを皆様を知って頂き、業界全体の更なる発展に繋げていければと考えております。今後も「みちサクラ」同士の架け橋になれるよう頑張っていきますので、どうぞ宜しくお願い致します!

道路建設技術講演会



福島支部長 挨拶

平成30年度道路建設技術講演会を(一社)日本道路建設業協会中部支部主催で、10月25日に名古屋市東区の名古屋市東文化小劇場で開催しました。

冒頭、福島支部長は「建設業界は働き方改革を加速させ『給料のいい、休暇が取れる、希望が持てる』の新3Kを実現しなければならない。中部支部は積極的に活動する」と述べ、講演会を皆さんの技術の向上、現場環境改善の一助としてもらいたいと呼びかけました。

プログラムでは名古屋大学減災連携研究センター教授・センター長の福和伸夫氏が「『彼を知り己を知れば百選殆からず』で南海トラフ地震を凌ぐ」と題し巨大地震の危険を知る大切さ、備えるための意識改革を説いた上で、土木・建築の役割、重要性を再認識して欲しいと訴えました。

続いて中部地方整備局の池口正晃道路部長が「中部の道路事業について」、最後に(一財)日本建設情報総合センター研究開発部の影山輝彰主任研究員が「BIM/CIMの動向と今後の展開」をテーマに講演を行いました。

行政・会員企業・一般参加企業・コンサルタントあわせて300人を越える参加があり、参加者は3人の講演に熱心に耳をかたむけていました。



名古屋大学 福和教授



中部地方整備局 池口道路部長



JACIC 影山主任研究員

舗装施工管理技術者技術講習会



(一社)日本道路建設業協会主催による平成30年度舗装施工管理技術者技術講習会を8月29日、名古屋市中区の名古屋産業振興公社デザインホールで中部支部会員企業などから約160名が参加し、最新の舗装技術や安全対策などの習得を目的に開催しました。

冒頭の挨拶で、瀬上彰恭中部支部幹事長は「働き方改革、建設現場の生産性向上策i-Constructionの推進、法令順守が道建協のテーマ。しっかり取り組んでいきたい」と述べるとともに「この講習で、社会経済の変化を踏まえた舗装工事の最新技術を習得してもらいたい」と述べられました。

講習会では、第1章で国土交通省中部地方整備局道路部の福田光祐道路情報管理官が「舗装事業をめぐる社会・経済情勢と各種制度」について講演されました。第2章から第4章までを道建協本部の委員が講師を担当し、環境・安全委員会安全部会の丸井茂裕委員が「舗装工事の安全対策」、環境部会の遠藤雅晴委員が「建設副産物対策」をテーマにそれぞれ講演し、技術委員会技術政策等情報部会の澤田昭吾委員が「最近の舗装技術の動向」について解説しました。

講習会は、CPDS認定講習会として受講者に5ユニットが付与されました。

労働基準法に関する講習会



(一社)日本道路建設業協会では、平成29年度からコンプライアンス講習会を実施し、独占禁止法、労働基準法、暴力団排除について講習会を実施しています。

今年は、8月31日にホテル名古屋ガーデンパレスで労働基準法について愛知労働局から講師を招き「魅力ある職場づくりと人材確保対策、労働時間法制等の見直

し、労働安全衛生」の3つのテーマの講習会を開催し、89名が参加しました。

働き方改革が全国的に推進される中、労働時間、人材確保、労働安全と幅広く講義をいただき、労働環境の現状、今後の動向や対策に参考とすることができました。

アスファルト舗装技術に関する講習会

愛知県アスファルト合材協会
(一社)日本道路建設業協会中部支部



愛知県アスファルト合材協会
技術管理委員会
江口 洋一 担当理事

愛知県アスファルト合材協会(難波陽一会長)と(一社)日本道路建設業協会中部支部(福島憲二支部長)は7月3日名古屋市内のホテル名古屋ガーデンパレスで「平成30年度アスファルト舗装技術に関する講習会」を開き、会員企業より212名が参加し最新のアスファルト舗装技術を学びました。

冒頭、愛知県アスファルト合材協会技術管理委員会の江口洋一担当理事は「アスファルト舗装は社会インフラの基盤でもあり、災害時の復旧、復興に欠くことができない技術だ。講習で学んだ事を生産性向上につなげてほしい」と挨拶されました。

講習会では4名の講師によりアスファルト舗装に関する専門的な講習を行いました。

最後に質疑応答が行われ、閉会の挨拶を愛知県アスファルト合材協会の金田浩何監事が述べられ講習会が終了いたしました。

- 講師 (一社)日本改質アスファルト協会
技術委員 浅井 和明 氏
『舗装の生産性向上に向けた
ポリマー改質アスファルトの役割』
- 講師 (一社)日本建設機械施工協会中部支部
建設ICT活用連絡協議会 委員 鈴木 勇治 氏
『舗装工事の生産性向上～舗装工事のICT活用』
- 講師 国土交通省中部地方整備局
道路部道路管理課長 内藤 正仁 氏
『道路をめぐる最近の話題』
- 講師 国立研究開発法人土木研究所
道路技術研究グループ舗装チーム
上席研究員 藪 雅行 氏
『舗装のメンテナンスサイクルの構築に向けて』

技術委員会

建設技術フェア2018in中部(学生ひろば)

今年は『現在(いま)を支え未来を創る先進建設技術』をコンセプトに10月17日18日の2日間、名古屋市千種区の吹上ホールにて「建設技術フェア2018in中部」が開催されました。

出展技術は、「建設業の未来を支えるi-Construction関連技術」をはじめとする6分野で237企業・団体によって紹介され、講演会では「ロボット・AI技術」や「建設ICT推進」等に関するパネルディスカッションが行われました。昨年に引き続き人手不足解消や生産性向上に関するもの

が主ではありましたが、内容はさらに充実したものになりました。

道建協では、今年も「学生交流ひろば」を運営しました。訪れた将来を担う学生の方々には道路技術の現状や今後の方向性等を知ってもらえたかと思います。

22回目となる今回は、天候にも恵まれ過去最高の来場者数となる15,704人を迎え、建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を一般の方々にも広く紹介できた良いイベントとなりました。



安全委員会

安全パトロール

安全委員会では、委員会を2班編成し、国土交通省中部地方整備局及びNEXCO中日本発注工事の現場において安全点検を年6回実施して安全対策のレベルアップを図っています。安全パトロールでは、工事概要説明を受けてから安全点検を実施し良好事項・是正事項について報告し、最後にパトロール講評を行っています。

● 第1回 平成30年5月15日(木)

実施場所 NEXCO中日本 名古屋支社 東名阪・名二環リフレッシュ工事
工事名等 桑名管内舗装補修工事 大有建設(株)
清州東IC舗装補修工事 世紀東急工業(株)
参加者 23名



東名阪リフレッシュ工事

● 第2回 平成30年5月29日(火)

実施場所 NEXCO中日本 名古屋支社 名神高速道路集中工事
工事名等 羽島管内舗装補修工事 日本道路(株)
彦根管内維持修繕業務 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
参加者 23名



名神高速道路集中工事

● 第3回 平成30年9月18日(火)

実施場所 中部地方整備局 浜松河川国道事務所 佐久間道路建設工事
工事名等 佐久間道路東栄地区舗装工事 福田道路(株)
佐久間道路浦川地区舗装工事 常盤工業(株)
佐久間道路佐久間地区舗装工事 岐建(株)
参加者 11名



佐久間道路建設工事(概要説明)

● 第4回 平成30年10月4日(木)

実施場所 NEXCO中日本 名古屋支社 東海北陸自動車道保全工事
工事名等 岐阜管内維持修繕業務 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
参加者 15名



東海北陸自動車道保全工事

● 第5回 平成30年10月31日(水)

実施場所 NEXCO中日本 名古屋支社 新名神高速道路建設工事
工事名等 新名神高速道路菰野舗装工事 (株)NIPPO
新名神高速道路鈴鹿舗装工事 鹿島道路(株)
参加者 17名



新名神高速道路建設工事(講評)

中部緊急防災協会 通常総会

平成30年度 通常総会



中部緊急防災協会は、平成30年5月23日に平成30年度通常総会をメルパルク名古屋(名古屋市東区)で開催し、平成29年度の事業活動及び決算報告、平成30年度の事業計画・予算など審議・承認されました。また、併せて役員改選が行われ、淵上彰恭会長(世紀東急工業株式会社名古屋支店執行役員支店長)、福島憲二副会長(株式会社NIPPO中部支店常務執行役員支店長)の再任の人事案が承認され、新たな活動をスタートしました。

総会では、「道路交通網に緊急事態が発生した際、道路建設業に携わる業界の総力を結集し、道路管理者に協力して路面確保に対処する。」基本方針が確認され、平成30年度の防災隊式典の開催や班員会議など具体的方策について討議し、懸念される南海トラフ巨大地震や異常気象による巨大台風への当協会の役割の重要性を改めて認識する総会となりました。

■平成30年度 中部緊急防災協会 役員紹介

役職	氏名	会社名及び役職
会長	淵上 彰 恭	世紀東急工業株式会社名古屋支店執行役員支店長
副会長	福島 憲 二	株式会社NIPPO中部支店常務執行役員支店長
常任理事	大高 圭 介	花菱建設株式会社専務取締役
◇	松 村 高 志	東亜道路工業株式会社中部支社常務執行役員支社長
◇	中野谷 眞 己	大有建設株式会社取締役常務執行役員建設事業本部長
◇	難 波 陽 一	中部土木株式会社代表取締役社長
◇	秦 純 二	朝日土木株式会社代表取締役社長
◇	藤 澤 宏 行	株式会社市川工務店名古屋支社支社長代行
◇	山 本 正 樹	株式会社ガイアート中部支店執行役員常務支店長
◇	安 野 正 和	吉川建設株式会社常務取締役施工統括部長
理 事	伊 藤 馨	日本道路株式会社中部支店執行役員支店長
◇	江 口 洋 一	昭和土木株式会社代表取締役社長
◇	小 原 信 也	大林道路株式会社中部支店常務執行役員支店長
◇	鈴 木 克 也	大成ロテック株式会社中部支社支社長
◇	中 井 俊 彦	中井土木株式会社代表取締役社長
◇	土 屋 聡	前田道路株式会社中部支店常務執行役員支店長
◇	松 居 広	岐建株式会社取締役営業部長
監 査 理 事	永 田 徹 也	鹿島道路株式会社中部支店執行役員支店長
◇	林 肇	株式会社佐藤渡辺中部支店執行役員支店長
参 与	佐 藤 憲 司	中部土木株式会社顧問
◇	服 部 信 夫	株式会社市川工務店代表取締役会長
◇	前 田 和 弘	大有建設株式会社執行役員技術部長



淵上会長 挨拶

■中部緊急防災隊〈地区責任者・事務局紹介〉

愛知地区	責任者:中野谷 眞己 事務局:山本 忠義	大有建設(株) 大有建設(株)
岐阜地区	責任者:牧野 智一 事務局:上田 昇司	(株)市川工務店 (株)市川工務店
三重地区	責任者:秦 純二 事務局:濱口 健	朝日土木(株) 朝日土木(株)
静岡地区	責任者:大高 圭介 事務局:大高 庄之助	花菱建設(株) 花菱建設(株)
長野地区	責任者:安野 正和 事務局:清水 博通	吉川建設(株) 吉川建設(株)

中部緊急防災協会 懇親会



洲上会長 挨拶



福島副会長 乾杯



中野谷隊長 中締め

中部緊急防災隊式典

防災隊式典・班長会議

中部緊急防災協会の会員企業で構成される中部緊急防災隊(洲上彰恭本部長)は、平成30年7月27日に、名古屋ガーデンパレス(名古屋市中区)で防災隊式典を開催しました。

式典には中部地方整備局、名古屋高速道路公社、中日本高速道路株式会社、道建協本部からご来賓を賜り、また、愛知・岐阜・三重・静岡・長野の各地区16班から隊員総勢130名が集結しました。式典では、洲上本部長より防災隊の社会貢献度が強調され、参加者全員の社会貢献への決意を新たに、式典を終えました。

式典終了後には、川崎浩司講師(株)ハイドロ総合研究所取締役)より「南海トラフ巨大地震について考える」をテーマに、津波の基礎知識や巨大地震に備える心構えなど、わかりやすい講義がありました。

なお、式典に先立ち、同会場にて班長会議が開催され、班員会議からの要望事項への対応や広報活動、防災訓練などの説明が行われました。



洲上本部長訓示



中川瀬中部地方整備局総括防災調整官 来賓挨拶



防災隊式典



班長会議

防災訓練

南海トラフ地震に備え連絡体制を確認

中部緊急防災協会(瀧上彰恭本部長)は9月3日、南海トラフ巨大地震発生に備え防災訓練を行いました。

訓練は、午前8時30分に和歌山県沖の太平洋を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、各地で大きな被害を受けているとの想定で開始しました。

午前9時に名古屋市中区の日本道路建設業協会(道建協)中部支部に対策本部を設置し、発災後、直ちに役員ら

25名が本部に駆けつけ、対策本部を立上げ本部長の指示で中部5県(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)の地区責任者、班長との連絡体制や緊急物資・機材・給水タンク等の保管状況などを確認し、11時30分に終了しました。

中部緊急防災隊は、自然災害など緊急時に道路管理者と協力して災害時において道路の確保などの緊急・応急対応に当たります。



対策本部



小牧基地訓練の様子



給水タンクの点検

会員だより

マイブーム フジタ道路(株) 名古屋支店 総務部 竹中 夕起

最近ハマっているのがつまみ細工と水族館です。
つまみ細工にハマったきっかけは、妹でした。

私は、幼いころから手芸など細かい作業が好きで、小学生の頃は、ビーズやフェルトを使って指輪やマスコットなどを作っていました。当時流行っていたミサンガも一生懸命作っていた思い出があります。

妹から卒業式に和風のイヤリングを買おうと思っていると相談を受け、ネットで検索したのを見てこれなら自分でも作れそうだなと思い、試しに100円均一で最低限の材料を買い作ってみたところ、なかなかの出来栄だったので作ってあげることにしました。

つまみ細工もいいけど、水引もいいなというリクエストを受けたので試しに合わせて作ってみたところ気に入ってくれたようで、私的にはもう少しいいものを作ってあげたかったのですが、妹は嬉しそうに卒業式にイヤリングをつけていきました。

それがきっかけで、時間がある時につまみ細工を作るようになりました。まだ、出来上がりにムラがあり、納得できるものがなかなか出来ないで



つまみ細工

すが、これからも色々なものを作り続けていけたらいいなと思っています。

次に水族館にハマったきっかけが、海遊館で4月に行われた「おとまりスクール」でした。

おとまりスクールとは、事前に応募をして選ばれた人のみが参加できる1泊2日のイベントです。閉館後に集合して夜の海遊館を飼育員さんの話を聞きながら見学した後、サメやエイたちが泳ぐ大水槽やカマイルカたちの水槽の前で寝袋を使って就寝します。2日目の朝食後は、開館前の飼育員さんの

作業やエサやり、トレーニング等裏側を見たり聞いたり普段入館するだけでは経験できないことができます。

このようなイベントがあることをSNSで知り、友達を誘って早速応募したところ見事に当選しました。この時の倍率は4倍だったそうです。

大学生の頃からジンベエザメにハマり、ずっと見に行きたいと思いながらもなかなか行けていなかったのですがうれしかったです。普段お客さんでゴった返している水槽の前もガラガラでとても見やすくじっくり見ることが出来ました。

おとまりスクールに参加してから、どうしても他の水族館にも行きたくなり名古屋港水族館、鳥羽水族館に行きました。いつも行く淡水魚の水族館もいいですが、やはり海水魚の水槽の規模には圧倒されます。水族館に行って魚についての知識が深まったのかと言われると怪しいものですが、ただ眺めて癒されに行きたい水族館はまだあるので、これからもいろんな水族館に行きたいと思っています。

私にはこれといった趣味やこのような場でお話できるようなことがない為、今回この記事を書くのも一苦勞でしたが、ハマったものが一時的ではなくいつか趣味と言えるようなものになればいいなと思いながら、積極的に様々なことに興味を持ち、挑戦していきたいと思っています。



ジンベエザメ



シュゴン



フジタ道路(株) 竹中夕起

季節の写真

雪降れば

木ごとに花ぞ

咲きにける

いづれを梅と

わきて折らまし

紀友則



編集後記

平成最後の発行となる支部だよりの編集作成にあたり平成とは何と災害の多かった時代かと思いました。

雲仙普賢岳火砕流に始まり阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、北海道地震等と全国で大災害に見舞われ多くの方々が被災され、まだ大きな傷跡が残っております。

建設業界も含め世の中は急速にIT化等に進み日々革新しておりますが自然災害発生を正確に予測することは今の科学的予見ではまだ不可能です、しかし私たちは将来起きても不思議ではない災害に対し、予測し学習し準備する事は可能です。

この中部支部では将来、南海トラフ大地震が予見されており当支部、防災隊も幾多の災害に被災された方々の教訓を活かし、常日頃からの防災訓練等を進めております。

建設業界は東京オリンピック、リニアそして大阪万博へと輝かしい新時代に向け急速に変革の時期に入って行きますが、災害復興の基盤を作る大事な任務も任されております。将来の備えとして当協会も活動を通じ皆様の手助けと災害への準備を出来る様努めて参りたいと思います。

広報委員 安井 洋

(一社)日本道路建設業協会 中部支部「広報委員会」まで

連絡先

●TEL 052-971-5310 ●FAX 052-971-5375

●ホームページ <http://www.dohkenkyo.or.jp/> ●Eメール chubu@dohkenkyo.or.jp

大規模津波防災総合訓練

東日本大震災を教訓に津波対策に理解と関心を深めるため11月5日を「津波防災の日」と定め、防災訓練が実施されています。今年は、11月3日(土)に南海トラフ巨大地震を想定した平成30年度大規模津波防災総合訓練が三重県四日市港霞埠頭をメイン会場に、123の参加機関により53項目の訓練、参加人員1300名、スタッフ500名の計1800名により実施されました。

当協会においては、路面段差解消訓練を中部緊急防災



隊(日本道路建設業協会)、自衛隊、NEXCOと共に実施しました。訓練は、覆工板を敷いて段差を作り常温合材を用いて限られた時間で段差解消をする訓練でした。その後、緊急車両が段差解消後の路面を走行し訓練は無事終了しました。

訓練の参加者は、支部長、防災協会長、三重地区責任者、対策委員2名、三重地区四日市班9名、総務委員2名の方々が参加しました。



南海トラフ巨大地震防災訓練 (広域進出拠点開設・運営)

木曾川上流河川事務所主催で南海トラフ巨大地震を想定して他地域から応援を受け入れる広域進出拠点の開設及び運営の訓練が12月13日(木)に各務原市の東海北陸自動車道川島パーキングエリアにおいて、関係11機関、約60人が参加し実施されました。TEC-FORCE活動計画策定後始

めて実施する訓練で、災害対応の拠点の開設、対策本部とのテレビ会議、応援部隊の集結と出動、伝達訓練が行われ、当協会からは、支部長、本部長、隊長、対策委員長、愛知地区名古屋西班牙から7名が訓練に参加しました。

